進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第３号
平成３０年７月２１日発行

未来から今を考える①

今号より３回にわたり、本校卒業生から、在学中に学んで役立っていること、もっとやっておけばよかったと思っていること等、インタビューした内容を掲載します。将来、なりたい姿から今は何を大事にすればよいのか考える機会となってくれることを期待しています。

今号は、平成２９年度に卒業した石岡奈々さんです。日中は能代市にある、「障がい者総合支援センターりぼん」で働き、日常生活は「OHANA の家」というシェアハウスで暮らしています。

1| 学校で学んだことで、役立っていることは？

パソコンです。職場の広報作成、フェイスブック、ホームページの更新、工賃の計算等、パソコンを使う仕事は全て私が担当しています。

2| 卒業するときに感じたことは？

センターで１６年も過ごしてきたので、社会に出るということが怖くてたまらなかったです。先生、友達、医師、看護師、**たくさんの人に守られている**ことを感じました。

3| 学生のうちにやっておくとよいことは？

毎日元気に仕事ができるように、**体力を付ける**ことです。歩行など毎日続けていることが大切だと思います。

たくさんの人と関わり、**コミュニケーション力を高めておく**のもとても大切です。人は一人では生きていけません。学校での交流活動や休日の外出など、人と関わる機会はとても大切です。その中で、よい関わり方を学んでおくといいですね。

奈々さんの一日（月～金）

８：５０	送迎車が迎えに来る 朝礼、ラジオ体操
９：２５ ↓	作業（１０分の休憩含む）
１２：００ ↓	給食
１３：００ ↓	作業（１０分の休憩含む）
１５：１０	
１５：３０	退社 送迎車で帰宅
１６：００ ↓	ヘルパーさんと買い物や夕食準備、入浴等
１７：００	テレビ等自由
２１：００頃	就寝

4| 後輩に一言

自分を知って、自分のことを伝えられることが大切です。また、**人との関わりを大切にしてほしい**です。人は環境や出会う人によってやりたいことが変わります。やりたいことは、今はできなくてもそこに向けて努力することはできます。**自分のやりたいことを見付けて**頑張ってほしいです！！

裏面は学部毎に内容が異なります。他学部の記事は、学校のホームページか、玄関前の掲示版で見ることができます。

【各学部掲載記事】
小学部：排せつのステップアップに向けて、入所施設について　　中学部：高等部に向けて～自立と身辺処理
高等部：現場実習評価票について
【共通記事】職業フェスティバル、障害者支援センター御所野利用者募集について

現場実習 評価票について ～前期現場実習を終えて

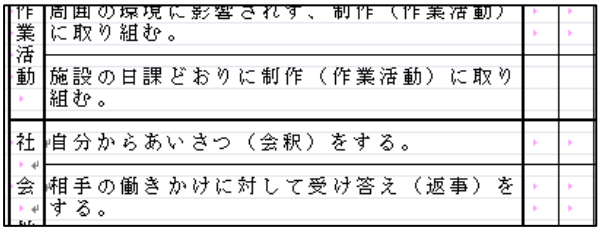
６月１８日（月）～２９日（金）、２週間の前期実習期間が終わりました。保護者の皆様も大変お疲れ様でした。必要に応じて、夏季休業中も見学・実習を計画している生徒もおります。引き続きよろしくお願いいたします。今回特に実習を行わなかった方もおりますが、ご心配なく。これから一緒に考えていきましょう。

さて、現場実習中の頑張りを、事業所側に評価してもらうための「評価票」についてお話しします。これは**実習中の生徒の様子を事業所の担当の方から教えていただき、今後の学校での指導に生かすための資料**です。「〇〇が得意でした」「次の実習では△△を頑張って」等、これを見て課題を見付け、次の取組へとつなげます。

今回の実習では「あいさつ・返事」について多くの生徒がよい評価をいただきました。笑顔や話し方を褒められた方もいます。うれしいですね。

評価の中には、学校だけでなく、ご家庭にも協力をいただいて指導をしていく必要があるものもあります。今後、担任から相談があるかもしれません。客観的な評価を活用し、協力して卒業後の生活のために取り組みましょう。

「評価表」にも色々な様式があります。これはその一部です。



作業活動	周囲の環境に影響されず、制作（作業活動）に取り組む。		
	施設の日課どおりに制作（作業活動）に取り組む。		
社会	自分からあいさつ（会釈）をする。		
	相手の働きかけに対して受け答え（返事）をする。		

秋田県障害者技能競技大会・秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルが行われました

秋田県特別支援学校の職業教育のレベルアップと、一般企業への雇用促進を目指し、７月１１日（水）秋田市にぎわい交流館 AU（あう）で同時開催されました。

「秋田県障害者技能競技大会」には県内 15 校の特別支援学校の生徒や一般企業から選手が参加し、ビルクリーニングや縫製など 7 部門で、総勢６１名の選手が日頃鍛えた技を競いました。本校からは高等部１年生１名がワープロ部門に出場し、ワードを使った３０分の課題を２回行いました。結果は銅賞でした。

「秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル」では、作業製品の展示・販売のほか、作業学習の取組を紹介しあう、実践交流会も行われ、会場は熱気に包まれました。

本校からは作業製品とパネル展示のみの参加でしたが、今後、製品の開発と改善を重ね、販売や実践交流会できらり支援学校の取組も紹介していきたいものです。

News

「障害者支援センター御所野（仮称）」から利用者募集のご案内

秋田県身体障害者更生訓練センターは平成３１年４月より、秋田市御所野地区に新築・移転し、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援の各事業を行うそうです。利用者募集のお知らせが来ておりますので、興味のある方は、担任までお知らせ下さい。